

市民と市長の意見交換会

No	日程	場所	質問内容	関係局	回答者	回答
1	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	<p>質問は3つあり、まず1つは、第6次の総合計画ができあがったときに、第5次の総合計画の反省に基づいて行われたと思うが、そこがこの資料では見えない。どういことがよかったから継続していこうとか、これがちょっとあまりできないとか悪いとか、もう終わったとか、そういったところがちょっと見えないというのがあると思うが、教えてほしい。</p> <p>2つ目は、財政面で、国の方に非常に借金があって、私は非常に不安を覚えているが、高松市もそんなにいい財政状況じゃないと思う。資料中の財政状況についても、義務的経費の割合がどんどん上がるよと、じゃあそれ以外のお金がなくなってって、人口も減って税収も減るよと、人口の推移は2060年までやっているが、財政はどうなんだろうと。税収の見通しを長期的にたてて、そのためにじゃあ、職員はどうするのだとか、そういったものを知りたい。</p> <p>また、オリンピックで体育館の建設に相当のコストがかかりそうなんですけど、無駄な出費だと言われている。高松市の箱モノに対するLCC(ライフサイクルコスト)の見直し指標とか市の財産に対する補修維持費が相当かかると思うが、そういったものが、どうなっていくのか見通しを立てて、長期的にどうなるのかが見えない。それを教えていただければと思います。</p> <p>3番目が「安全で安心して暮らし続けられるまちづくり」の中の「居住環境の整備」について、個人的にユニバーサルデザインのNPOを開設しているが、今からの高齢者が増え、住環境については非常に問題だと思う。それで、ユニバーサルデザインと非常に言われているが、最近の傾向でカラーユニバーサルデザイン、色弱者に対する対応が、最近注目されていて、日本人の男性で20人に1人が何らかの色弱を持っていると言われており、観光客を誘致しようと、どんどん増やそうとしている中、欧米人の色弱者はもっと多く、10人に1人と言われており、そういった観光客が来た場合に、サイン、色が分かりづらいという問題がある。そのような点についても目を向けて対策を講じた方がいいと思う。</p>	市民政策局	市民政策局長	<p>1点目第5次総合計画の反省点が見えないのではないかと指摘について、資料を見ますと確かにそういった資料になっている点、市として反省するところで、先ほどの説明の中で満足度調査なりの毎年の評価を踏まえて、次年度の計画作りにつなげていると説明している。今回の第6次の計画については、大きくは継続性ということで、施策事業の多くの部分については継続しようとしている。本日は具体的に示せていないが、例えば交通安全の問題であるとか、あるいは公共交通の問題であるとか、そういったものも当然継続ということで、外部的には満足度の度合なり、施策の重要度なりというようなことを踏まえながら、個別に事務事業を検討している。今後いい機会があれば、第5次との関係でどういふうにつなげているのかということ、少し工夫は必要かと思うが、そういう説明ができるようになればと思っている。</p> <p>3点目のユニバーサルデザインの関係について、ユニバーサルデザインというのは範囲が非常に広いという面があり、なかなか元気な人間では気づかない部分、バリアとなりハードルとなっている面があり、本市においても、ユニバーサルデザインというまちづくりをしていこうと考えているので、本日意見を聞き、施策につなげていきたいと考えている。</p>
				財政局	財政局長	<p>財政状況について、義務的経費の割合が高水準で推移しており、財政の硬直化が進んでいる。短期的には、普通交付税の特例的措置の段階的縮小、また、長期的には、人口減少による税収の減や、高齢化による社会保障費の増大などが想定され、厳しい財政運営は避けられない状況である。</p> <p>このため、今後の財政運営に当たっては、国の地方財政対策の動向や税収等の状況を慎重に見極め、施策事業の厳しい取捨選択と一層の効率化に取り組んでいく。</p> <p>また、公共施設のLCCにつきまちは、本市の公共施設の総量削減や複合化、配置の見直し等を、施設を経営する観点から進めようとするファシリティマネジメントの取組において、本年3月に策定した「高松市公共施設長寿命化指針」の中に、LCCの最適化を図るためのライフサイクルマネジメントに、施設ごとに取り組むこととしている。今後、施設ごとに策定される中長期保全計画を元に、LCCの試算値や最適化の状況について、市民の皆さんへの公表を行う。</p>
2	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	<p>日本は世界の類を見ない程早いスピードで少子高齢化が進み、子供がどんどん減る、その一方、全人口のうち、約4人に1人が65歳以上のいわゆる高齢者になる。</p> <p>先日、共同通信社が減り続ける日本の人口問題の対応策について、全国の知事、市長を始めとする1,788の区議長、トップに対してアンケート調査を実施したと聞いている。</p> <p>その内容について説明をお願いしたい。</p>	市民政策局	市長	<p>人口減少、超高齢社会の中でどういう施策を重点的に取り組むか、それについてどう考えているか、特に最近来たアンケートでは、日本創生会議が首都圏の高齢者がこれからどんどん増えていくので、その分首都圏での介護の施設が足りなくなる、ケアをするマンパワーも足りなくなる、その高齢者を余裕が出てくる地方に移住させようという計画が発表されているが、そのことについてどう考えるかというアンケートがあった。</p> <p>移住させる先として香川県内に3地域、本市もその地域になっている。</p> <p>これから大都市、特に首都圏でどんどん高齢者が増えていって、ケアをするマンパワーが足りなくなると、まずまず地方から介護する若者が流出しかねない事態になるのでいびつな状態は解消しなければならない。とはいえ、高齢者になって介護や医療が必要になってから地方に移住をさせることになる、結局 医療、介護のお金がかかる部分だけ地方が負担することになる。</p> <p>したがって事前に調整するために、私は特に、元気な高齢者、今65歳特に団塊の世代はほぼ全員高齢者になっており、70歳くらいまでの要介護率は2~3パーセント程度なので、元気な高齢者を元気なうちにUターンを中心として、地方に帰ってきてもらい、地域社会の一員として活躍していただくような、移住対策に力を入れていきたいと回答をしている。</p>
3	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	<p>屋島が瀬戸内海国立公園指定から80年余になりますが、観光客がどんどん減っている状況で、観光地として春や秋など季節感がない気がする。各地で観光の競争も激しい中、屋島が国立公園というだけで新しい何か対策を打たなくては、水族館も閉鎖となれば、お遍路さん位しかあてにできないのではないかと。</p> <p>私はJR屋島駅で地元の活性化のため日々活動をしているが、何か屋島活性化に結び付く事業はないかと思っており、屋嶋城が完成した際は、その登り口には季節感のあるもみじなど色物を多く植えたら秋の観光客の増加につながるのではないかと。</p> <p>屋島はいろいろと難しい問題はあるが、何か一工夫してもらいたいと思う。</p>	市民政策局	市長	<p>屋島について、7世紀の古代山城跡の復元整備がほぼ終了し、来年3月に一般公開可能となり、3回目の瀬戸内芸術祭においても、屋島に何らかの作品を置くことで、それを契機に少しでも明るい方向にいければと考える。</p> <p>水族館の閉鎖の問題がありいろいろと課題はあるが、平成24年度に屋島会議を催し、いろいろな意見を出していただいた。その中で、具体的に44事業掲げているが、中長期的な課題もあり、すぐに実現可能な事業ばかりではないので、先ほど話のあった四季折々の雰囲気を感じられる方策など意見などを生かしながら、少しでもいい方向に進めていきたい。当面はドライブウェイのアクセスの問題や山上拠点施設の整備についても前向きに検討していくということで進めており、皆さんにはいろいろな形で支援を願えたらと思っている。</p>
4	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	<p>少子高齢化の最たる庵治町はこれらの計画で本当にやっていけるのか。個別に庵治町にスポットを当ててほしいということである。</p>	市民政策局	市長	<p>市総合計画の中では具体的には書けないが、本市全体として庵治町を含んだ形でそれぞれの施策でやっていく。</p>
5	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	<p>6月議会の記事で7月4日の新聞に、まちづくりのアドバイザーの派遣を検討すると載っていたが、具体的にどのようなものをするのか教えてほしい。</p>	市民政策局	市民政策局長	<p>議会で地域コミュニティに関連した質問の中で、まちづくりのアドバイザー派遣のことを検討していくという内容で答弁を行った。コミュニティについては、総合計画の中ではコミュニティの再生ということで大きく位置づけをしている。</p> <p>高齢者の地方移住の話や、若い人が高松に戻ってきてもらう、定住化、Iターン・Uターンという流れの中で、受け皿となるコミュニティというものがしっかりしておかないといけないという考え方を持っている。</p> <p>コミュニティはその結成からほぼ10年がきている中で、いろいろな問題が現実には見えてきているというところ、10年を振り返って検証し、新しい今後の10年をどうしていくのかという整理をしていく必要があると考えている。その中でコミュニティプランの見直しの時期にきているので、詳細までは詰めていないが、地域において、プランの見直しについて少し市が支援をするという形で一歩でも二歩でも前進するように考えていこうという中身である。</p>
6	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	<p>たかまつ創生総合戦略の概要中のPDCAサイクルの中で、一番大切なのは「C」のチェックの部分と思うが、顧客の声をどのように吸い上げて、どのように分析して、どのように生かしていくかという視点を民間事業であれば持っている。市として総合戦略を策定するに当たり、市民の声を議会の他に、どのように吸い上げて、どのように分析してどのように生かしていくつもりなのか。</p>	市民政策局	市民政策局長	<p>予算、決算審議などの議会での議論を通じて、様々な意見を得ている。また、市では市民満足度調査を毎年やっていて、施策に対して、満足・不満というシンプルな聞き方をしており、市民の皆さんの全体の傾向を見るのに活用している。例えば、市民の皆さんが重要な施策であると判定されているにもかかわらず満足であるというものに対し、しっかり取り組もうとしている。交通安全対策や公共交通の利便性の向上については、その傾向があるので、しっかりと取り組みたい。</p> <p>そういった形で市民の皆様意見を踏まえて、次年度以降の計画に反映させる仕組みがある。</p> <p>最近の行政の傾向として、成果目標をしっかりと立て、成果目標に対し事業が実施できたかできなかったかという評価をやらうとする流れがある。</p> <p>成果を図るのは行政の分野では難しい面もあるが、それに近いものを設定し、市民の皆さんに提示し、評価しやすくしてもらいたいという評価指標を設けていきたい。</p>

市民と市長の意見交換会

No	日程	場所	質問内容	関係局	回答者	回答
7	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	<p>庵治町の現状を見ると、高齢化率は塩江町について2番目だと思う。老人ばかりで、若い人がいないから、祭りひとつとってもなかなかできない状況の中で、町の活性化など到底考えられない。</p> <p>高松市の新しい総合計画の中に庵治町は入っているの？と思った。市全体としては良いが、交通の便の悪い庵治町の特殊性を考えると、庵治町をどう発展させるかという視点も持っていただきたい。庵治町だけでなく塩江町などの地域をどうなさろうとしているのか。生き残るためにどうしようとしているのか、市長に聞きたい。</p> <p>今、初めて知ったが、庵治支所が出張所になるとか、学校も人数が減っているため、屋島とか牟礼からスクールバスを出して、そっちに小中学校が吸収されると聞いた。庵治町について、いったい市はどう考えているのか。</p>	市民政策局	市長	<p>庵治町については、漁港があって地場産業である石材業も盛んな町であると認識しているが、おっしゃるとおり少子高齢化は相当進んでいる。</p> <p>庵治地域の特色を生かしながら、活力を失わないように、庵治地域をどうしていくのか地域コミュニティ協議会や市民とともに、一緒に考えなければならない重要な問題であると認識している。</p> <p>ただ、総合計画の中にはこの地域をどうするといった個々具体的なことは盛り込めないで、今後この総合計画に基づいて具体的な事業をまちづくり戦略計画で作っていく。その際に庵治地域の公共交通をどうしていくか、コミュニティバスなど地域にあった公共交通で、牟礼が総合支所になって一つの核となることから、そこまでのアクセスなど利便性がずっと高くして庵治地域を生かしていくという方向性も考えられる。より具体的な事業を実施計画に位置付けることでその地域の発展策を考えていきたい。</p> <p>ただ、基本は市が庵治地域のことを考えるのではなく、庵治の人たちが地域をどうしたいのかそれを市がどう受け止めやっていくか今後とも意見をいただければと思う。</p> <p>庵治支所の件については、地域全体を3層構造の中で位置づけるもので、旧合併町はいろいろ特殊な事情もあることから今の支所は当分の間、人もそれなりの配置を考えている。</p>
8	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	<p>通常企業であれば5年とか10年単位の中長期計画は立てるが、高松市としては、30年、50年先を見越した対応で、非常に範囲も広いし、深みもあり、立派な内容であると思う。</p> <p>企業であれば利益追求型であって当然であると思うが、行政というのは、福祉とか住民の方々の絆が目に見えるような行政の推進、計画をしていくのが、今後更に求められる。そのような中、今後ますます団塊の世代が高齢化し、認知症や介護に要する費用の増加も考えられるので、総合計画策定の際の考えの中に入れてもらえたらと思う。</p>	市民政策局	市長	<p>人口減少ばかり取り上げているが、人口減少よりも問題なのは高齢化社会にどう対応するかである。2060年には今の42万人の本市の人口が28万人になり、65歳以上には45%になる。</p> <p>そういう社会を考えた時に、どういうまちであればそこに住んでいる人たちが幸せを感じ、更には豊かさを感じ、活力を維持しながら生活できるのかを考えたのがコンパクトなまちづくりであり、地域包括ケアシステムという、お年寄りが住み慣れた地域、できれば自宅で必要なその人にあった形で生活支援、医療サービス、福祉、介護サービスがきちんと受けられるようなシステムを今から準備して確立していかなければならないと考えている。</p> <p>医療や介護を中心とした、福祉の分野において、財政面の制約も踏まえて地域包括ケアシステムがいいと思うので地域包括ケアシステムの構築を一つの目標としてこの計画の中にも位置づけている。</p>
9	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	<p>資料中の「心豊かで未来を築く人を育むまち」の中で、若い人たちの就労の話が出ていたが、教育力、格差が地方は財政が悪くなっているので学校教育が低下していると思う。中でも大学等、高等教育の充実是非常に厳しい。</p> <p>新聞報道によりますと香川大学と香川県・高松市の連携という話は出ており、いいことであると思うが、この教育力にこれから地方はもっと力を入れてほしい。特に、児童の人口減少ということで競争力が非常に落ちていると思うし、地方の将来がないと悲観している。</p> <p>学校教育の充実、特に大学、高等教育の充実に向けた具体的な政策をお聞きたい。</p>	市民政策局 教育局	市長	<p>本市及び香川県の教育の現状であるが、学力は全国の一斉テストの結果をみてもある程度のレベルにある。</p> <p>ただ一番の問題は18歳になった時に進学する学生の8割が県外に出るということで、2割しか地元に残っていない。地元に残った大学生は基本的に地元で就職しているが、8割出て行った学生はなかなか帰ってきてくれない。</p> <p>人口の定着といった面からも優秀な人材を地元で生かすといった面からも地元での高等教育の充実が必要ということで項目を立ててやっているものの、じゃあどうすればいいかというと、新たに大学を設置するのではなく、今ある県内の大学と行政が連携して、市としても県内にある大学・短大と高等教育機関と連絡会議を設け、地元の学生に地元の大学の魅力を伝えることによって地元に残ってもらうとか、あるいは地元の大学自体に魅力をつけなければいけない。高等教育レベルが上げるような対策を行政側からもお願いするなど、双方が努力することによって、県内の定着率、優秀な生徒の県内への就職率の向上につなげていこうとするために掲げている。</p> <p>具体的な事業はこれから詰めていきたい。</p>
10	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	<p>昨年度の人口減少について、日本の減少率がマイナス0.17%、ところが、香川県はマイナス0.47%と全国平均に比べると、倍以上の減少である。</p> <p>仕事の面で、まち、ひと、しごと創生総合戦略と、この中で付加価値の高い職場を作ることが一番大切なことだと思っており、「仕事人が人を呼び、人が仕事を呼ぶ」そのとおりだと思う。</p> <p>男性女性とも結婚年齢は毎年上がっていて、去年は出生率が0.43から0.42に下がった。その理由は、団塊ジュニアの方達が40歳を超えたということで子供を作る能力なくなってきたということがあげられており、早く結婚して早く子供を産まないと人口減少は止められないのではないかと、ということはいいい付加価値の高いいい職場を高松につくらないとUターンもおこらないし、ましてやIターンもおこらない。</p> <p>うちの孫は来年卒業するのですが、どうも高松には帰ってこないようで、やはり高松にいい仕事がないから帰ってこないということだと思うから付加価値の高い職場を作ることが人口減少に歯止めをかけるということではないかと思う。</p> <p>正社員を早くからつくっていると、子供は自然に増えるし、給料のいい人は早くから子供を作っているようであるので、その面で、付加価値の高い企業を早急に誘致する必要があると考える。</p> <p>現在は、団塊の世代が65歳を過ぎてその人たちが退職した補充として雇用が増えていて、オリンピックで増えている、東北の震災の問題で増えているが、それらが終わったら、雇用が減少することが目に見えている。そうすると2020年以降は不況の時代に入ってくる。</p> <p>その対策は今から打っていかねばならないと思うし、付加価値の高い企業を早急に誘致する必要がある。</p> <p>今、世界をひっぱっているのはアメリカで、中国もだいぶいろんな面でひずみが出てきており、やはり製造業がしっかりしていないといけな。</p> <p>付加価値の高い企業を引っ張ってこない高松はよくならないし、香川県にいい仕事場がないということにつけるんじゃないかと思うので、市で精一杯考えてもらって、そちらに向けて誘導していただきたい。</p>	創造都市推進局	市長	<p>本市では、高松市企業誘致条例に基づき、工場等の設置や新たな設備投資を行う事業所に対して、投下固定資産額及び新規常用雇用者数に応じた助成金を交付するなど、市外企業のみならず、地場の企業への立地支援、環境整備に努めてきたところである。</p> <p>今後においても、引き続き同制度を活用していくほか、中小企業基本条例に基づき、県等の関係機関と連携して、企業からの要望や問い合わせに対するワンストップサービスを実施するなど、市内企業への支援にも取り組み、企業の誘致及び育成を通じて、雇用の創出を図りたい。</p>

市民と市長の意見交換会

No	日程	場所	質問内容	関係局	回答者	回答
11	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	市外から企業を引っ張って来ることも大事であるが、グローバル企業の育成が大事だと思う。	創造都市推進局	市長	県等の関係機関と連携して、企業からの要望や問い合わせに対するワンストップサービスを実施するなど、グローバル企業となり得る企業も含め、市内企業の育成及び支援に取り組みたい。
12	H27.7.13	牟礼コミュニティセンター	<p>多核連携型コンパクト・エコシティを本市が推進する動きの中で、庵治支所がなくなり牟礼地区センターに統合され、庵治町の行政職員が減って、ゆくゆくは事務職員が2名だけになるのではないかと町民として危惧している。</p> <p>防災に関しても、庵治町は高波の被害を受けており、支所の職員がいなくなるのは仕方がないが、行政職員を減らすのではなく、防災に関する職員はお願いしたいと願っている。</p> <p>また、牟礼の地区センターまでの交通手段は大変不便で、地域で盛り上げていこうとしても、市との連携の職員がいなくなるということは、大変不安なことである。</p> <p>地域コミュニティ活動に日々頑張っているが、高齢者の方が増えているし、皆さん仕事を持っているので地域のことばかりに時間を費やせない現状があり、行政が主となって指導していただきたい。</p> <p>また、庵治支所(出張所)の行政職員の確保をお願いしたい。</p>	総務局	市長	<p>地域行政組織の再編に当たり、庵治支所におきましては、地区センター(仮称)への移行後も、当分の間、現在の支所機能と同等の窓口サービスを提供するとともに、必要となる職員体制を確保することとしている。</p> <p>また、「当分の間」の具体的な期間については、移行後の状況等をみながら、サービス内容や職員体制について検討していきたい。</p> <p>災害が起こった時に、どのように取組み、また、対応するかは、平時から地域においても決めておくことが必要であり、そのための計画である、地域コミュニティ継続計画の策定を促進してきた。</p> <p>専従職員として災害担当の職員を配置することは難しいが、再編後においても、災害対応について、支障を来たすことがないよう、市職員の動員体制等を検討したい。</p>